

(1) 見学会

2024年度の活動狙い (2023年度を踏襲)

- 工場見学及び講演を通して、技術情報や技術動向を現地現物で提供。13回/年 開催。
- 自動車業界のみならず、異業種やCASE/MaaS/IoT等先進技術領域の見学先も織り込む。
- 開催にあたっては、見学先と密に連携し新型コロナ感染防止対策を確実に実施。

計画内容：若手技術者入会キャンペーン対象者優先枠拡大見学会をトヨタ博物館にて開催。

回数	開催月	見学先	分野	回数	開催月	見学先	分野
①	5月	ヤマハ発動機 本社工場 (中止)	車体・エンジン	⑧	11月	京都機械工具(KTCものづくり技術館)	工作機械
②	6月	eve autonomy (イブ・オートノミー)	異業種	⑨	11月	SUBARU航空宇宙カンパニー 半田工場	異業種
③	7月	NTN 岡山製作所	自動車部品	⑩	12月	トヨタ博物館	異業種
④	8月	モリタ 三田工場	車体・エンジン	⑪	12月	海洋研究開発機構	研究所
⑤	8月	JERA 碧南火力発電所	異業種	⑫	1月	大同特殊鋼 星崎工場	材料
⑥	9月	航空自衛隊 浜松基地	異業種	⑬	2月	三菱重工航空エンジン	異業種
⑦	10月	北川工業 春日井工場	自動車部品				

※青文字：内諾受領済の見学先
黒文字：打診・調整中

2024年度の取り組み (2023年度を踏襲)

- 募集規模の適正化 (40→20名 且つ 10名/Gr) やPR効果を意識したイベント告知で参加率向上を図る。
- 若手に魅力のあるコンテンツの企画・実践に重点的に取り組む。
- 入会サポートの特典 (無料化) として、対象者枠5名の確保や優先枠拡大見学会を開催する。

(2) 技術講習会

概要

狙い：会員の研鑽と視野拡大に貢献することを目的に、24年度も計5回開催する。幅広い分野からのテーマ選定により多くの聴講者を見込むと共に、他支部との連携も視野に入れるなど、会員の満足度向上を図る。

活動内容：2024年度はリアル開催とオンライン開催を適宜活用し、会場集合型講習会のメリットと、オンライン開催の利便性を活用し開催計画を進める。また、多くの方の参加機会の場を狙いとし、第2回以降は会員は参加費無料とする。

開催回	時期	会場	募集目安	テーマ
第1回	4月19日	浜松（アクティ浜松）	120名	「安全・魅力なクルマづくり」とし、新機種の最新機能の技術説明、開発の狙いなどの紹介や、最近話題の技術についての講演を計画する。講演後、講演会場にて各講師を囲んでの交流会も実施する。
第2回	7月	オンライン	150名	カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの他、自動車業界においても切り離す事できない時流に沿ったテーマを幅広く検討。参加利便性を考慮しオンラインで計画する。
第3回	9月	オンライン	150名	操安性、生産技術など基礎技術の進化を含め幅広い分野からの講演を検討中。また、若手技術者に興味を持っていただける講演も考慮する。
第4回	10月18日	三島 (三島市民文化会館)	120名	「市場を進化させるクルマたち」とし、他の講習会で取り上げたテーマ、技術などを採用した話題の車両の開発に関わる講演及び車両の展示を計画する。実車を囲んで開発者と意見交換できる講習会を継続する。
第5回	11月	刈谷 (仮:刈谷市産業振興センター)	150名	1～4回のテーマとの調整を取りつつも、トレンドを取り入れた訴求力のあるテーマ選定とし実施する。また、見学会とのコラボなど、他事業との協業も検討し双方の事業活性化を図りたい。
		オンライン開催2回、 リアル開催3回	690名	

ねらい

同じ分野の研究・開発に携わっている技術者・研究者の研鑽と相互交流。

実施内容 開催日・方法・テーマ：

- ・**第1回 7月12日(金)** 刈谷市総合文化センター
講師 4 名、参加者募集28名、「**カーボンニュートラルに向けた燃焼技術**」
- ・**第2回 1月31日 (金)** 刈谷市周辺（会場集合型）
講師4名、参加者募集28名、「**未定：例) モビリティの軽量化**」
- ・事前Webアンケートを実施、本会への期待と質問事項を募る。
- ・講師による講演、全員による全体討議（上記事前Webアンケートの期待と質問が話題の中心）、講師をリーダーとしたグループ討議の3部構成

(4) 体験型講習会

目的

自技会活動の利用価値の理解度向上を目的として、「体験型講習会」を開催し、会員サービスの充実を図る。

狙い

実際に**日常では体験できない車の挙動を体験**していただき、**安全運転の再認識と運転技術の向上**を図っていただく。

- ・約半数の方が同僚上司の勧めで参加されているため、自ら参加したくなる、より魅力ある企画を目指す。
⇒ 体験内容更新のため、会場を変更する。
- ・2023年度に引き続き、費用の削減も考慮していく。

計画内容（検討中）

- ・日時：2024年11月7日(木) 10:30～16:30
- ・場所：トヨタ交通安全センター モビリタ（富士スピードウェイ内）
- ・定員：24名
- ・参加費：入会サポート/キャンペーン対象者は半額
- ・内容：○死角体験、○運転姿勢、◎高速フルブレーキング、
◎低ミュー路ブレーキング&旋回、◎飲酒運転疑似体験（◎は新メニュー）



2023年度実施状況
(キョウセイ交通大学)

狙い

- ・自動車関連技術の最新情報を、多くの技術者に提供し、自動車技術の将来の展開への期待を醸成するとともに、会員以外の方には、自動車技術へ関心を広げ、自動車技術会の新規会員獲得に繋がる事を期待する。

内容

- ・日時：2024年6月6日(木) 16:10 – 17:30
- ・場所：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 (実地開催のみ)
- ・募集：150名前後
- ・講師：名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授/稲盛科学研究機構フェロー

田中 由浩 様

- ・テーマ：『**触知覚原理に基づくデザインとその価値：触感設計と感覚運動支援**』

- ・概要：触覚は身体と対象との力学的相互作用に基づく感覚であり、対象だけでなく身体にも依存します。本講演では、触覚の発展性を考察しながら、この特徴を活かした従来と異なる触感デザインや、触覚の情報化による能力拡張や新しい人と機械の関係を紹介します。

※講演会中に、従来と異なる触覚デザインや、触覚の情報化による能力拡張を体験できる展示を企画。



公益社団法人自動車技術会HPより

(6) 技術者懇談会

概要

目的・テーマ：他社との交流による人脈作り、技術者に求められる資質能力向上の気づきを得る。

(女性は技術者に加えモビリティ企業に従事する従業員が対象)

運営：24年度は年3回（中堅、若手、女性）を実地で開催。懇親会を含めた密な交流で、仲間作りにつなげる。若手技術者懇談会は、人テク展NAGOYAの見学を含めた**初の試み**で開催。

実施計画

	開催日	討議テーマ（案）	募集定員
若手技術者懇談会	2024年7月19日 (AichiSkyExpo)	その先のテクノロジーに触れ、 仲間と共有し、明日からの仕事に活かそう！	20名 * 若手（25～29歳位） <5/7より募集中>
中堅技術者懇談会	2024年10月11日 (ウインクあいち)	エンジニアのジレンマ ～技術者自身の葛藤・経験を 相互に共有し、今後に活かす～	20名 * 中堅（35歳前後）
女性懇談会	2025年2月7日 (実地開催 *1)	私の働き方	20名

* 1：名古屋駅周辺を予定。突発時でのハイブリッド開催も予定。

◆入会サポートで新規に入会する場合、参加費無料対応（全懇談会を対象）

概要

目的：会員の幅広い知識、見識の一助となる情報を提供する。

発刊予定：95号 2024年9月25日， 96号 2025年1月31日

運営：会員が興味を持てるような特集記事を構成し、読みやすく、わかりやすい表現になるよう心がける。

電子化に伴う記事構成の変更や写真枚数・動画や文字サイズの調整、広告に関するページネーションの見直しなどを進め、一層のサービスの向上につながることを目指す。

実施内容

95号について

特集テーマ：変化を進化につなげる(仮)

記事構成：特集(5件)、シリーズ中部(1件)、自動車の豆知識(2件)、モータースポーツ(1件)、いっぽくしよまい(6件程度)、支部事業報告を予定

96号について

編集活動：4月に活動を開始。特集テーマ・取材記事検討に着手。

(8) 学生自動車研究会

2024年度活動狙い

- ・学生会員の自動車技術への関心を深め、会員相互の親睦をはかってもらうことを目的として活動を行う。
- ・2023年度に引き続き、安全を強く意識してイベントを計画・実施する。

2024年度中部支部学生自動車研究会行事予定

行事	頻度	狙い
学生委員会	5回 (4月、7月、10月、12月、2月)	イベント計画、イベント準備の進捗確認、イベント報告、など
参与会	2回 (4月、10月)	イベント計画確認、イベント報告
安全ミーティング	5回 (4月、7月、10月、12月、2月)	安全意識向上
安全講習会	1回 (5月)	安全のための知識の習得
中部支部試走会	3回 (7月、8月、10月)	フォーミュラ車両の走行テスト、翌年の車両開発のためのデータ取得
カート走行会	1回 (2月)	運転技術向上、レースオフィシャルの練習、大学間の交流
交流会	2回 (7月、10月)	学生フォーミュラのチーム運営、静的競技などを題材に議論し、大学間の交流を図る
ものづくりセミナー	1回 (5月)	ものづくりにおける、重要なポイント、楽しさ、難しさを、新入生に体験してもらう
テクニカルセミナー	1回 (12月)	エンジンに関する知識・技術の向上
レーステスト見学会	1回 (3月)	レースチームメンバーとしての動きや、最新のレースにおける技術を学ぶ
学術講演会	1回 (3月)	専門家による自動車に関する講演

(9) 社会貢献

概要

ねらい： モノづくりや創意工夫の楽しさを体験できる学習イベントの開催を通じて、未来の「エンジニア」を育む

開催数： 9回、中部地区7県で開催予定

開催内容： ①ウインドカー組立・改良:**W**、②小型エンジン分解組立:**E**、③ロボットカープログラミング:**R**、
④学生フォーミュラカー展示:**F** の4種類の教室から開催館と調整/選択して開催

2024年取組み事項： 老朽化備品更新(ポスター、ロボットカーなど)、運営マニュアル整備、委員負担軽減

実施計画

回	開催予定日	開催場所		開催内容
第1回	4月21日	岐阜県先端科学技術体験センター	岐阜県瑞浪市	W、E、F
第2回	5月18日	こまつの杜 1	石川県小松市	W
第3回	6月9日	こまつの杜 2	石川県小松市	W
第4回	7月7日	四日市公害と環境未来館	三重県四日市市	W、E
第5回	9月29日	みえ こどもの城	三重県松阪市	E、R
第6回	10月20日	福井県児童科学館	福井県坂井市	W、E
第7回	11月10日	富山市科学博物館	富山県富山市	E、R、F
第8回	1月19日	焼津天文科学館	静岡県焼津市	E
第9回	2月16日	豊橋市視聴覚教育センター	愛知県豊橋市	W、R、F



狙い

自動車業界にとらわれず・視野を広げて、中部地域で活動している新技術領域の従事者の方々に「人とくるまのテクノロジー展」に参加していただき、新たな技術領域の技術情報発信を行うとともに、既存会員企業の皆様との交流で展示会を盛り上げることで、業界の活性化につなげていく。

また、新技術領域の従事者の方々に支部活動の有益性を認識して貰うことにより、会員サービス向上と新技術領域の従事者を含めた賛助会員および個人会員の増加をねらいとする。

実施事項

- ・「人とくるまのテクノロジー展 NAGOYA」での中部支部リアルブース出展
- ・「人とくるまのテクノロジー展 NAGOYA」での中部支部エリア（新規）の開催
- ・協力企業との共同活動成果を中部支部HP等に掲載
- ・“中部支部ポスター”および“活動紹介動画”により認知・告知活動を展開

施策概要

- ・中部支部エリアに出展される企業・団体の方々に満足いただけるよう展示支援を行う。
- ・自動車技術会および「人とくるまのテクノロジー展」の認知度を向上するため、行政（産業振興課）や商工会議所などの団体とコンタクトし、「人とくるまのテクノロジー展 NAGOYA」に来場していただき中部支部エリアを見てもらうことにより、来年以降の出展へつなげられるよう広報活動を行う。

■ 狙い

技術者研鑽および若手人材育成のため、講演会と研究発表会を開催する。

■ 計画

- ・多くの方にご参加いただくため「**人とくるまのテクノロジー展2024 NAGOYA**」と連携を図る。
- ・会場は愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）

開催日	開催内容	内容
7月17日（開催1日目）	講演会	<ul style="list-style-type: none">・本部や中部支部の企画を視野に入れ、中部支部独自の視点で、テーマ・講師を選定。・午前・午後、各1件、企業と大学から講師を招聘。
7月18日（開催2日目）	研究発表会	<ul style="list-style-type: none">・発表件数：26件（内 学生7件）・発表経験の浅い人に対しレクチャー支援(希望者12名) (協力：豊田中央研究所)